

# 広報活動に関するアンケート調査を実施しました

効果的な広報活動を進めることを目的に、市民の皆さんのご意見をお聞きするため5年ごとに行っている「広報活動に関するアンケート調査」を実施しました。

調査対象者の皆さんには、お忙しい中ご協力をいただきありがとうございました。

**調査期間**／令和6年8月1日～9月30日

**調査方法**／市内在住の20歳以上80歳未満の個人へ郵送し、回答を郵送又はWEBで回収

**調査人数**／2,000人(無作為抽出)

**有効回答数**／596人(29.8%)

アンケート結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。

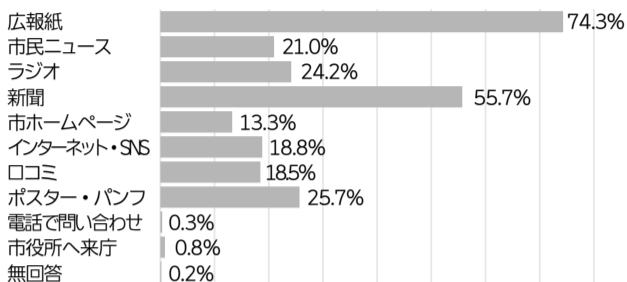
## 広報紙について

7割以上の方が市の情報を「広報紙」から入手しているとし、「新聞」からの回答も5割以上あったほか、「インターネット(SNSを含む)」からの入手が令和元年の調査から増えています。

「広報紙を「いつも読む」「ときどき読む」と回答した方は8割を超え、「あまり読まない」「まったく読まない」と回答した方は約1割でした。読まない理由として、ほかの手段で情報を得ている方が増えています。

「読まれているページは8割以上の方が「特集・お知らせ」とし、次に手続きやお知らせを掲載した「イン

市内の行事や事業に関する情報は主にどんなものから得ていますか(複数回答)



「スマートフォン」・「一か月の出来事を写真付きで紹介する「ズームアップ」などが続いています。見やすさは「非常に見やすい」「見やすい」「普通」が合わせて9割、「非常に満足している」「満足している」は8割を超えています。

取り上げてほしい情報は「医療・年金」「福祉・介護」「行事案内」などで、そのほか具体的には「頑張っている人やお店の紹介など身近な話題を取り上げてほしい」「特集記事やコーナーの充実などなっています。意見・要望として「もう少し特色を出してほしい」「お知らせばかり」「サイズを小さくしては」などの声も寄せられました。特に「サイズ」についてですが、現在の広報紙で使用しているタブロイド判は紙面が大きいという特徴があり、高齢者でも読みやすい文字サイズを使用することが可能で、さらに情報も多く掲載することができます。また、同時に配布する発行物を紙面に採み込みやすく、配布していただく方の負担も軽減できます。A4判と比較すると同じ情報量でもページ数を少なくでき、印刷経費の削減にもつながるなどの利点もあります。アンケートの回答結果から、広報紙は市の行事や事業を知るための情報源として重要な役割を持っていることをあらためて確認することができました。さらに市民の皆さんに親しまれるような身近な話題の掲載や特集記事の工夫など、いた

## 市民ニュースについて

だいた貴重なお意見を参考に、今後も魅力ある紙面づくりに努めていきます。

市民ニュースを「いつも見る」「ときどき見る」と回答した方は約5割でした。市民ニュースは市民の皆さんだけでなく放送している旭川・北見エリアの皆さんにも市内の行事や季節の話題を広く発信しています。現在、これまで放送してきたイベントや行事の様子だけでなく、市の重要な事業の紹介や今後開催されるイベント情報など、より市民生活の役に立つよう、放送内容の見直しも行っていきます。

## 広報FM番組について

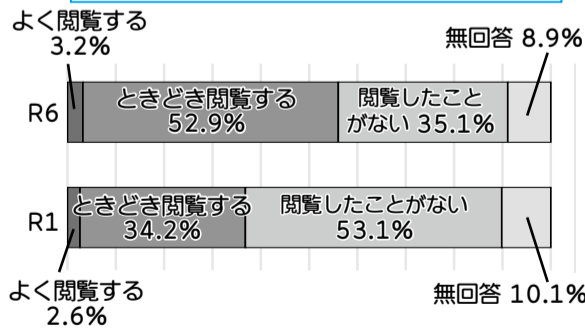
FMわっかないの広報ラジオ番組を「いつも聴いている」「ときどき聴いている」と回答した方は3割弱で、聴かない理由としては「放送時間帯が合わない」「放送されていることを知らない」のほか、「ラジオを聴く習慣がない」ことも大きな要因となっています。本市では市民の皆さんに緊急情報を伝達する手段の一つとして「緊急告知防災ラジオ」を各世帯や事業者へ無償貸与しています。F

Mわっかないを通して、災害・緊急情報を発信することとはもちろん、15ページでお知らせのとおり各種手続きやイベント情報、生活に役立つ情報をお伝えする番組などを放送しています。一部の番組はインターネット放送でも聴けます。今後は前のページで紹介した市内公式LINEと連携させるなど、広報ラジオ番組の利便性を高めていきます。

## ホームページについて

市のホームページを「よく閲覧する」「ときどき閲覧する」と回答した方は5割を超え、令和元年の調査よりも増えています。「閲覧しなかった」と回答した方は約3割でした。ホームページで主に閲覧するページは「イベント情報」が約3割で、次いで「お知らせ」・「更新情報」「くらし・手続き」などでした。使いやすいこと、使いやすい「使いやすい」「使いやすい」「約1割で」「普通」が約6割でした。約2割の方が「使いやすい」「とても使いやすい」「よく」「目的のページにたどり着けない」「更新されていない」「掲載されている情報が古い」など感じている

市ホームページを閲覧していますか。



この度、1月末にホームページをリニューアルしました。これまでの情報の整理やデザインの刷新などで情報の「探しやすさ」など以前よりも改善しています。今回のリニューアルでは高齢者や障がい者など誰もがホームページで提供される情報や機能を支障なく利用できるように「WEBアクセシビリティ」への対応や「スマートフォン」でも見やすいページが提供できるようにになり、また、公式LINEとも連携しました。ぜひ、ご利用いただきました。と思っています。

この度、1月末にホームページをリニューアルしました。これまでの情報の整理やデザインの刷新などで情報の「探しやすさ」など以前よりも改善しています。今回のリニューアルでは高齢者や障がい者など誰もがホームページで提供される情報や機能を支障なく利用できるように「WEBアクセシビリティ」への対応や「スマートフォン」でも見やすいページが提供できるようにになり、また、公式LINEとも連携しました。ぜひ、ご利用いただきました。と思っています。

## いただいた声を活かして

広報活動全般について「イベント情報を分かりやすく発信してほしい」「SNSを活用してほしい」「HPにアクセスできないお年寄りもいると思うので、広報紙を継続してほしい」など様々な意見・要望が寄せられました。

今回、市内公式LINEもリニューアルすることで、利用者ニーズに合わせた情報発信や道路等の異常についての通報、時間に関係なく問い合わせが可能になるチャットボット機能など大変便利になりました。多くの皆さんがスマートフォンを日常的に利用する中で、これらSNS等の活用を進める一方、高齢者など現在も広報紙を頼りにしている方も多く、今後も市民の皆さんと行政をつなぐため、広報紙をはじめ、テレビラジオ、インターネットなどそれぞれの特徴を活かして、必要な人に必要な情報をより早く、さらには分かりやすく届くように努めていきます。

## 問い合わせ

市広報秘書課広報・広聴グループ

☎23-63807